

金融危機の影響が全世界に広がり、中国でも家電やIT（情報技術）機器の生産販売が減速し始めた。中国の工業情報化省傘下で中国最大の市場調査会社、賽迪顧問（CCID）コンサルティングの李峻最高経営責任者（CEO、写真）に今年の展望を聞いた。

——生産回復はいつか。
「世界貿易機関（WTO）加盟で中国経済は世界経済と一体化した。家電やITの輸出比率は約六割を占め、回復は容易ではない。ただ、政府は内需刺激策を



中国の家電生産 「今年後半から回復」

政府系調査会社・李CEO

九年は下落幅が一〇―

矢継ぎ早に打っている。今一五％に広がる。外需依存年六月末が底で、後半から型の企業は淘汰され、国内回復するとみる。農村での市場で競争力を持つ企業が家電購入を補助する政策の勝ち残る」

効果が出るためだ。家電需——中国ではこれまでも要を五％以上押し上げると生産設備の過剰問題が議論みられる。政府はパソコン されてきた。

にも補助対象を広げてお なる。「〇九年は喫緊の課題となり、プラス効果が高まる」

——倒産急増で、業界の 業の株価は下落し、中国企業にとつて安く買取できる

の競争が激しくなる。家電 好機だ」

やIT製品の価格は年五―（聞き手は）
一〇％下落してきたが、〇 北京〓多部田俊輔